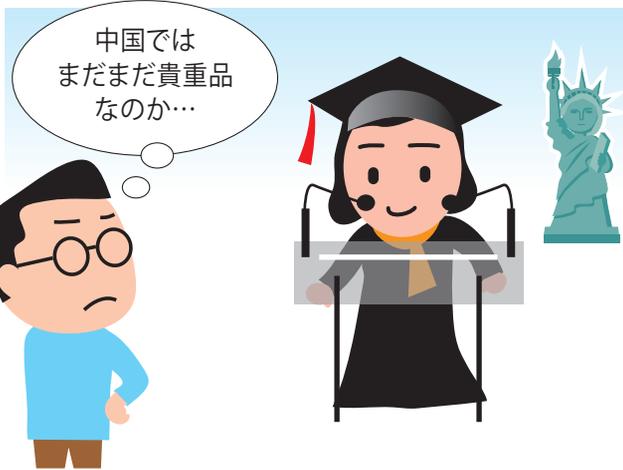


きれいな空気と 言論の自由

今年の五月二十一日、アメリカのメリーランド大学の卒業式で、中国人留学生の楊舒蘭さんが今年の卒業生の代表として卒業演説を行った。

楊氏は五年前、中国からメリーランド州にやってきた時、五枚のマスクを携帯していた。しかし、アメリカの空港に到着し、きれいな空気を吸って、着けようと思っていた一枚のマスクを鞆の中にしたと淡々と紹介した。中国のどの都市でもマスクを着けなければ病気になる、親は小さい子どもに教える。楊氏は、アメリカではマスクを着けず新鮮な空気を吸い込めることに自由を感じた。

次に楊氏は、話題をアメリカにおけるもう一つの大切な自由に移した。これは人類にとって新鮮な空気と同じくら



い貴重な存在で、つまり言論の自由である。彼女は以前、中国の歴史の教科書で人権の尊重・言論の自由・幸福の追求等の言葉を試験のために暗記したが、どれも抽象的存在と感じ、全く理解出来なかった。彼女はアメリカの大地を踏みしめたと同時に、世の中にそれらのことが本当に存在していると確信した。

メリーランド大学の生活は、楊氏にとって驚きの連続であった。学生が自分の意見を表明し、恩師に対しても反論でき、ネットで教授の評価を行うことも自由である。彼女は専攻する演劇のテーマに、人種差別、性差別等の政治問題を運び、様々な国から来た学生たちと激しく討論した。彼女の人生において最も興奮した瞬間であった。

楊氏の演説は、フランスの有名な哲学者の「自由は一種の選択で、我々の未来が今日と明日の決定に委ねられる」という格言で締められた。

楊氏の演説は中国国内で大きな反響を起し、中国の主要媒体は一斉に激しい口調で彼女を批判した。中国外交部のスポークスマンは、外国で外国人を前に自分の祖国を論評するのには慎重になるべきと楊氏の自重を促した。中国の愛国者は、楊氏と彼女の家族の個人情報やネットを公開した。言論の自由の表明の為に、楊氏と家族は大きな犠牲を支払った。

この出来事から、きれいな空気と言論の自由は、やはり中国では貴重品と言えるだろう。

月々の申込みを忘れて続けられなくなった...
と言う方のために

確実にお得な
定期購入
1年・6回コース 10%OFF
半年・3回コース 5%OFF

「簡単便利」と
定期購入のお客様が増えています
詳細は同送チラシをご覧ください